

## 大牟田の利点を生かした夢と希望にあふれるまちづくりを



公明党議員団  
大野 哲也 議員

案の内容について、議会の政策等調整委員会で論議し、実施についての意見が出されたことから始まった。

総合計画案に、中学校給

食の実施に向けた検討を図る旨を明記するよう、議会から市長へ申し入れたことにより、総合計画に記載され、本年4月の開始にたどり着いた。

つまり、議会改革の取り組みで、各議員の意見をまとめる仕組みができたことによる成果である。

こと。人事異動で人がかわっても、各学校のE S Dが継続されていくことなどがある。

**問** E S Dとユネスコスクールの取り組みは大変すばらしいと思うが、市長はどのように受けとめているか。

**答** E S D教育は、全国の教育の中でも先進的な取り組みだと受けとめている。

このE S D教育が先進モデルになるように、これから教育委員会と連携していきたいと考えている。

### 本市の強み、特徴を生かしたまちづくりを進めよ

**問** 本市の地方版総合戦略策定の方向性について聞きたい。

**答** 市民のニーズや希望の中には、安心して子育てができること、教育の充実、雇用の確保、医療と福祉の充実などの意見のほか、本市の強みとして、住みやすさ、買い物の利便性、認知症ケアの取り組み、ユネスコスクールの取り組み等の意見があった。

本市の総合戦略では、こうした本市の強み、特徴を生かしながら、地域性のある総合戦略の策定をしていきたいと考える。

### 待望の中学校完全給食がスタート

**問** 中学校完全給食がなかなか実現に至らなかった要因をどう分析しているか。

**答** 一番大きい要因は、財政的に厳しい状況だったことであると考えている。

**再発言** 完全給食が具体的に実施に向けて動き出した経緯は、4年半前の8月に総合計画2006～2015後期基本計画



完成した給食センター

### E S Dとユネスコスクールの取り組み強化を

**問** 市内全ての公立小・中・特別支援学校がユネスコスクールに認定されているメリットについて聞きたい。

**答** 全ての教職員が共通の目的意識を持ち、実践することができること。さまざまな情報の共有化が図られ、常に新しい情報を得ることができる

### ワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターの整備を

**問** フィンランドでは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援をワンストップで行うための地域の拠点を整備し、妊娠や出産等に係る相談支援やほかの支援機関との連携等を行っている。

こうした取り組みを参考に国では切れ目のない支援を行うためのワンストップ拠点を整備していくということである。

本市には保健所もあり、この制度の要となる保健師もいるので検討に値すると思うが、市長の考えは。

**答** 子育て支援を妊娠から一貫してワンストップでするのは大変有効だと思う。

本市には保健所があるので、そういったものをワンストップ型に変えていくというのは一つのアイデアとして非常に参考になると考える。